

科目番号	53028	分類	特別研究	履修者	看護科学コース (看護教育・研究者プログラム)			学年	1・2
科目名	特別研究 (Special Thesis)							1・2	
								配当セクター	
								通年	
担当者	○ 上國料 美香 他1名			区分	必修	単位	10	時間数	300
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】</p> <p>科学的根拠に基づく看護（Evidence-Based Nursing：EBN）の実現に向けて、科学的根拠に基づく看護（Evidence-Based Nursing：EBN）の基盤となる研究成果の産出、特別研究論文を作成する。この一連の過程をとおして、看護・看護管理の発展に寄与するための基礎的な研究能力の修得を目指す。プレゼンテーションや学術的なコミュニケーションを展開する方法の修得も目指す。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的・計画的に研究計画書に基づくデータ収集、分析、結果の解釈、論文作成を進め、特別研究論文を完成する。 2. 特別研究論文の内容について正確にわかりやすく発表する。 3. 特別研究論文の内容について他の研究者と学術的コミュニケーションを図る。 4. 看護・看護管理の発展に向けた研究の意義、研究者の役割と責任に対する理解を深める。 						○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力		
○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力								
	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力								
	4. 実践を行いながら学部学生の臨床実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力								
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1～70回	研究課題の選択 研究課題に関する文献検討、研究課題の明確化 研究計画書の作成 研究計画発表 倫理審査							上國料 他1名	
第71～150回	データ収集 データ分析 特別研究論文執筆 結果・考察の論述 論文審査 学内発表								
事前・事後学習	主体的・計画的に研究計画を遂行するとともに、必要な学習に取り組む。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組む。								
評価の方法	研究計画書発表、論文審査、論文発表及び質疑応答等を総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近藤潤子監訳：看護研究—原理と方法 第2版、医学書院、2010. その他、適宜に紹介する。								
備 考	授業形態：原則ゼミナール形式、必要に応じて個別指導とする。 授業計画：各自の研究の進捗により適宜変更する。 オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								